

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

寒紅をうすく引きおり八十路かな
節分やうぶすな余生古希となり
初曾孫の写真がとどく春立つ日
水鳥や日々にふくらむ猫柳
式辞たため学舎最後の卒業生

大山さよ子
稲田 文江
越坂 順子
大山みどり
福原 仁子

川柳

浦幌川柳会

終章の背伸びしてみる北風と
白鳥が朝日原野に舞い踊る
砂時計日々のつぶやき風の私語
湯の中に小さな神様引越した
万歩計少しずつ増え一千歩
退院日枕しつくり熟睡し
回り道少しの倅せ聴く窓辺

白木二十重
竹村 鮮明
星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子
山村 幹雄
阿部 麗紅

川柳

上浦幌句の会

厳しさを慶びに変え法の道
老猫が猫撫で声でものを言う
甘さゆえ人の煽てに身を落とす
仕わけ人庶民喝采省洪顔
友愛の寄合所帯がきしみ出す
庭の樹に冬ごもりするマイマイ蛾
お日様に恵まれ実った小豆選り

朝日ヒロエ
笹島力ヨ子
河村みよ子
大西 功
山田エツ子
福田すま子
芳川 乙美

短歌

心友愛会

冬の山峰現れる寒い朝
ひもじくないか雀たち
いそいそと心弾ませ支度する
会はわたしの心広場
亡き夫の命日に迎え雪原に
白鳥のむれ羽をやすめて
初もうで子等の健康祈りつつ
我が身を労り雪道をゆく
妹の入院知らず電話あり
見舞いにいけぬ心苦しき
二度三度大雪有りて手豆出来
腰をさすりて今日も暮れ行く
大寒のしほれも緩み明るさが
長きなりつつツララ解けおり
大雪で友の手をかり道ができ
お世話になりて今日も生きおり
赤い花一輪咲いて誇らしげ
亡きとも偲び思いにふける
銀世界小さい足跡どこまでも
朝日のなかを餌を求めて
知恵袋老いてますますさえ渡る
仲間の笑い今日も集めて
滑る道足をとられて尻もちを
孫の手借りて苦笑いつつ

富田さた子
長屋みよ子
山岸ヒデ子
山久保敬子
角田美代子
田代 チエ
前川 静江
文屋 房子
堀井あやの
山岸 明美
星 愛子
山口しず子

編集後記

■表紙の写真は、吉野幼稚園親子雪遊び会です。閉園が決まっていたため最後の雪遊び会となりました。風が冷たかったのですが、宝探しゲームや防火カルタ取りなど5種目を元気に親子で競いました。写真は「家族で坂すべり」です。大きなそりとはいえ、家族みんなが入るとぎゅうぎゅう。とっても楽しそうでした。

■アイスキャンドルを初めてつくってみました。かわいいうち兄弟が完成。キラキライルミネーションに比べると地味ですが優しい灯り。

■掲載された写真は、差し上げますので（本人または家族へ、お気軽にご連絡ください）。

